

2024年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月15日

上場会社名 株式会社一寸房 上場取引所 東
コード番号 7355 URL https://issun.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上山 哲正
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)加藤 力 (TEL) 011(215)0061
四半期報告書提出予定日 2023年12月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第1四半期の連結業績(2023年8月1日~2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第1四半期	309	12.5	△2	—	2	—	4	—
2023年7月期第1四半期	275	20.2	△11	—	△10	—	△8	—

(注) 包括利益 2024年7月期第1四半期 4百万円(—%) 2023年7月期第1四半期 △8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年7月期第1四半期	円 銭 1.80	円 銭 1.78
2023年7月期第1四半期	△3.65	—

(注) 2023年7月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年7月期第1四半期	百万円 671	百万円 109	% 16.2
2023年7月期	688	105	15.2

(参考) 自己資本 2024年7月期第1四半期 108百万円 2023年7月期 104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年7月期	—	—	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日~2024年7月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,495	11.5	101	—	89	430.3	58	700.7	25.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期1Q	2,281,100株	2023年7月期	2,281,100株
② 期末自己株式数	2024年7月期1Q	一株	2023年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期1Q	2,281,100株	2023年7月期1Q	2,281,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動が正常化しつつあり、個人消費は緩やかながら改善傾向にあります。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化やパレスチナ問題などの地政学的リスクに伴う物価高が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先である建設業界におきましては、民間企業の建設投資について、2023年度の設備投資計画が全体で前年比プラス1.5%と2年連続で前年度を上回っており、改善傾向にあります。鉄骨などの資材価格の上昇が止まらず、さらに業界全体における人手不足も深刻化している状況を鑑み、今後も建設需要やニーズの変化に対して、より一層注視が必要な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当社グループは、2023年10月13日に北海道で初となるBIM ISO19650-2に基づく、設計と建設のためのBIM BSI VCを取得し、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みをより加速させるため、BIMやCIMによる3次元設計技術の体制強化及び最新デジタルコンテンツ技術（CG、VR、AR、3次元測量など）の導入を積極的に行い、設計図面データとデジタルコンテンツ技術を融合させたビジネスモデルの付加価値向上を図ってまいりました。継続的に人材採用や技術者育成に注力し、建設設計に関わるワンストップサービス（意匠設計、設備設計、構造設計、施工設計、測量設計）の充実と企業価値の向上を目指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は309,808千円（前年同期比12.5%増）、営業損失は2,116千円（前年同期は営業損失11,429千円）、経常利益は2,581千円（同経常損失10,759千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,097千円（同親会社株主に帰属する四半期純損失8,322千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①設計ソリューション事業

設計ソリューション事業の売上高は251,103千円（前年同期比18.6%増）、セグメント利益は65,605千円（同46.8%増）となりました。

②測量事業

測量事業の売上高は31,673千円（前年同期比11.6%減）、セグメント損失は1,780千円（前年同期はセグメント利益9,824千円）となりました。

③派遣事業

派遣事業の売上高は27,031千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は6,884千円（同1.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は568,648千円となり、前連結会計年度末と比べ25,384千円減少（前連結会計年度末比4.3%減）いたしました。これは主に、現金及び預金が50,131千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が16,756千円、その他が4,545千円増加したことによるものであります。固定資産は102,446千円となり、前連結会計年度末と比べ8,223千円増加（同8.7%増）いたしました。これは主に、有形固定資産が5,697千円、投資その他の資産が4,871千円増加した一方で無形固定資産が2,345千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は671,094千円となり、前連結会計年度末と比べ17,161千円減少（同2.5%減）いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は297,617千円となり、前連結会計年度末と比べ7,102千円増加（前連結会計年度末比2.4%増）いたしました。これは主に、賞与引当金が21,647千円増加した一方で、買掛金が

6,876千円、受注損失引当金が6,197千円減少したことによるものであります。固定負債は264,329千円となり、前連結会計年度末と比べ28,361千円減少（同9.7%減）いたしました。これは主に、長期借入金が28,073千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は561,947千円となり、前連結会計年度末と比べ21,258千円減少（同3.6%減）いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は109,147千円となり、前連結会計年度末と比べ4,097千円増加（前連結会計年度末比3.9%増）いたしました。これは主に、利益剰余金が4,097千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は16.2%（前連結会計年度末は15.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の連結業績予想につきましては、2023年9月14日付「2023年7月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,077	257,946
受取手形、売掛金及び契約資産	226,254	243,010
棚卸資産	23,918	27,945
その他	39,201	43,747
貸倒引当金	△3,420	△4,002
流動資産合計	594,032	568,648
固定資産		
有形固定資産	28,111	33,808
無形固定資産	17,563	15,218
投資その他の資産	48,548	53,420
固定資産合計	94,223	102,446
資産合計	688,255	671,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,666	4,789
1年内返済予定の長期借入金	117,505	114,532
未払費用	73,859	76,391
未払法人税等	180	—
賞与引当金	14,270	35,917
受注損失引当金	10,459	4,262
その他	62,572	61,724
流動負債合計	290,514	297,617
固定負債		
長期借入金	279,054	250,981
資産除去債務	13,030	13,039
その他	607	309
固定負債合計	292,691	264,329
負債合計	583,206	561,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,031	94,031
資本剰余金	38,457	38,457
利益剰余金	△27,990	△23,892
株主資本合計	104,499	108,597
新株予約権	550	550
純資産合計	105,049	109,147
負債純資産合計	688,255	671,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
売上高	275,469	309,808
売上原価	194,354	223,002
売上総利益	81,114	86,805
販売費及び一般管理費	92,544	88,922
営業損失(△)	△11,429	△2,116
営業外収益		
受取利息	22	1
補助金収入	1,768	4,083
為替差益	—	2,201
その他	124	311
営業外収益合計	1,915	6,597
営業外費用		
支払利息	783	1,529
為替差損	84	—
その他	377	369
営業外費用合計	1,245	1,899
経常利益又は経常損失(△)	△10,759	2,581
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△10,759	2,581
法人税等	△2,437	△1,516
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,322	4,097
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,322	4,097

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,322	4,097
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△32	—
その他の包括利益合計	△32	—
四半期包括利益	△8,354	4,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,354	4,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	211,753	35,841	27,874	275,469	—	275,469
外部顧客への売上高	211,753	35,841	27,874	275,469	—	275,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	480	—	—	480	△480	—
計	212,233	35,841	27,874	275,949	△480	275,469
セグメント利益又は 損失(△)	44,681	9,824	6,767	61,273	△72,702	△11,429

(注) 1. セグメント利益の調整額△72,702千円には、セグメント間取引消去△124千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△72,578千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	251,103	31,673	27,031	309,808	—	309,808
外部顧客への売上高	251,103	31,673	27,031	309,808	—	309,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,010	1,415	—	3,425	△3,425	—
計	253,113	33,088	27,031	313,233	△3,425	309,808
セグメント利益又は 損失(△)	65,605	△1,780	6,884	70,709	△72,825	△2,116

(注) 1. セグメント利益の調整額△72,825千円には、セグメント間取引消去△455千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△72,370千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。